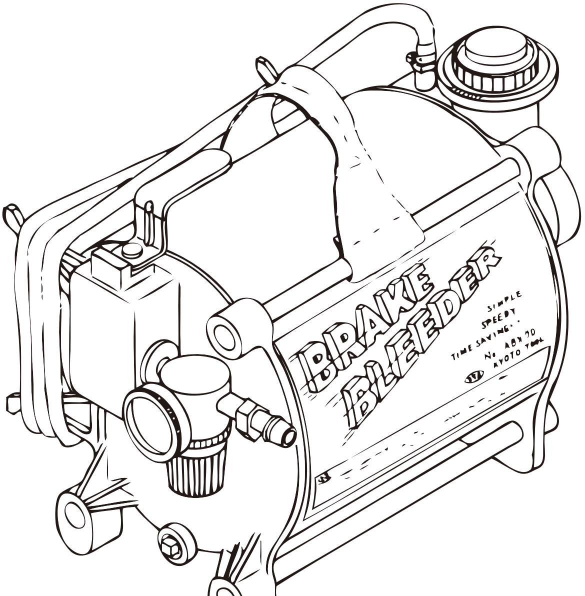
KTC
KYOTO TOOL

ブレーキブリーダー

No.ABX70

取扱説明書



このたびはABX70ブレーキブリーダーをお買い上げいただきありがとうございます。
ブレーキブリーダーをより安全・適切にお使いいただくため、この取扱説明書をお読みください。
取扱説明書及び、表示の注意事項や使用方法は、十分理解した上で、正しくお使いください。
なお、この取扱説明書は、お手元に大切に保管してください。

本製品は自動車のブレーキ液の圧送を行う専用機器です。
本製品はコンプレッサの圧縮エアを利用して駆動する機器です。

KYOTO TOOL CO.,LTD.

⚠注意、注の意味について

ご使用上の注意事項は、「⚠注意」と「注」に区別していますが、それぞれの意味を表します。

⚠注意：誤った取扱いをした場合に、障害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害の発生が想定される内容。

注：製品の操作、メンテナンスに関する重要な内容。

図記号について

図記号の示す意味は次のとおりです。

⊘：禁止を表します。

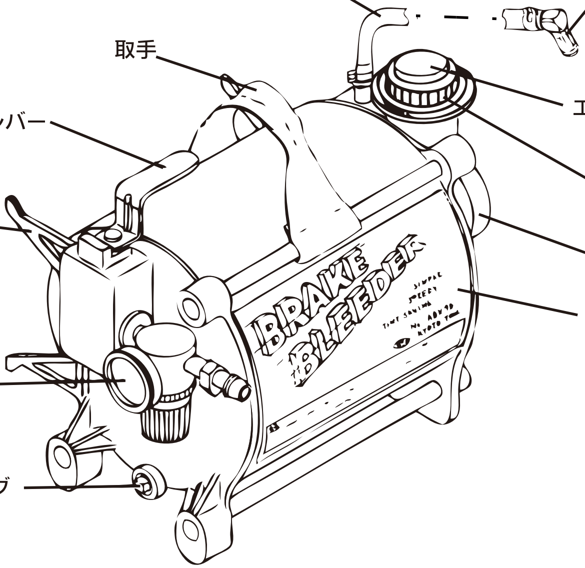
❗：必ずしてほしい行為を表します。

目次

各部名称 ---------- 2
特徴 ---------- 3
入組内容 ---------- 3
仕様 ---------- 3
適用 ---------- 3
使用上の注意 ---------- 4
使用方法
・ブレーキ液の注入 ---------- 5
・アタッチメントの選択 ---------- 6
・リザーバタンクへのアタッチメントの取付け
A1 ---------- 7
A2 ---------- 9
B1またはB2+D1 ---------- 11
B1またはB2+E1 ---------- 13
・作業方法 ---------- 15
・残量表示 ---------- 17
・ブレーキ液補充 ---------- 18
保守・保管方法 ---------- 19
補給部品 ---------- 19
適用表 ---------- 20

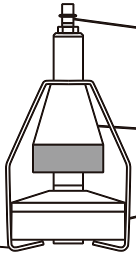
各部名称

本体

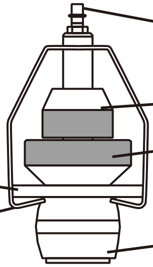


アタッチメント

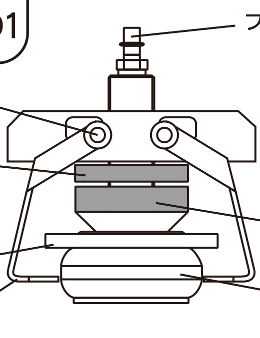
A1



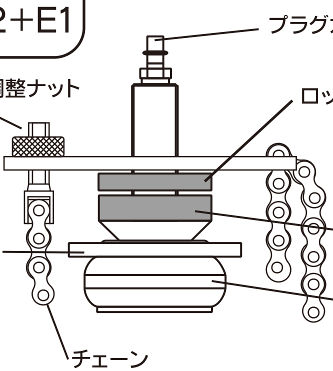
A2



B1+D1
B2+D1



B1+E1
B2+E1



特徴

1.連続圧送で作業時間を短縮できます。
2.10個（オプション含む）のアタッチメントで多くの車種に対応しています。
3.低価格で高性能なコンパクト設計です。
4.操作の簡単なエア駆動式圧送タイプです。
5.ワンタッチ取付けが可能なプレートゴムを採用しています。（アタッチメントA1）
6.内圧式拡張ゴムにより優れた密着性があります。（アタッチメントA2、B1、B2）
7.タンク内のエア抜きがワンプッシュでできます。

入組内容

本体	1台
アタッチメント　A1、A2,B1,B2	各1個
クランプ　D1,E1	各1個
アタッチメント収納ケース	1個
防塵カバー	1枚
取扱説明書	1冊

仕様

外寸	320x205x210mm
圧送ホース長	3.5m
タンク容量	2ℓ
残量表示目盛り	0.2リットル（1目盛り）
重量（本体）	6kg
入力エア圧力	0.5～1.0Mpa（5～10Kgf／cm^2）
使用圧力	0.15～0.25MPa（1.5～2.5Kgf／cm^2）
適合エアカプラ	R1／4日東工器20PM相当品

適応

適用車種は適用表（P20・21）を参考にしてください。
※作業前に対象となるリザーバタンクの内径、形状、マスタシリンダ周りの
状況などを確認して下さい。

・リザーバタンク内径がφ18～76であること。
・リザーバタンクの給入口が円筒形であること。
・リザーバタンクの給入口より上側のスペースが100mm以上あること。
・リザーバタンクの側面のスペースが10mm以上あること。
・リザーバタンクの給入口内に端面から下側にスペースが15mm以上あること。
（A2,B1,B2）

使用上の注意

使用前に必ずお読み下さい。

⚠ 注意

- 製品の取扱説明及び注意事項をお読みになり、十分理解した上でお使い下さい。
- 適用外対象物、仕様範囲外の部位では破損や作動不良の原因となりますので使用しないで下さい。
- 各部の取付けボルト及びナットに緩みが無いことを確認した上で使用して下さい。
- 本製品に化学薬品、海水、水分等を付着させないように使用して下さい。
- 保守点検等は取扱説明書の手順に沿って行って下さい。取扱を誤りますと製品や車輌の破損又は作動不良の原因となります。
- 製品のメンテナンスに際しては、製品仕様を守ると共に各部の交換、その他の関連メンテナンス等を十分確認の上作業を行って下さい。
- 安全のため保護めがね等を着用して作業して下さい。

- 製品又は作業対象部位に亀裂、変形などの異常が認められる場合は使用しないで下さい。
- 荷重を掛け過ぎると破損する可能性があります。仕様範囲外での使用はしないで下さい。
- 故障の原因となりますので衝撃を加える等の外圧を与える行為は行わないで下さい。
- 分解、改造はしないで下さい。加熱、加工した場合には本来の性能を発揮することはできません。
- 作業対象物に「斜め掛け」「浅掛け」の状態で使用しないで下さい。
- 本製品を使用する場合には、不安定な場所で使用しないで下さい。

作業前に必ずお読み下さい。

⚠ 注意

- 本製品は、有資格者（自動車整備士又はそれに準じた資格修得者）が使用して下さい。
- ブレーキ作業手順は。各自動車メーカーの整備指示書等に基づき正しく作業を行って下さい。
- ブレーキ液の取扱説明及び、注意事項をお読みになり、十分理解した上で正しくお使い下さい。
- 各自動車メーカー指定のブレーキ液を使用して下さい。
- 製品各部の取外し、取替えは本体タンク内の残圧を開放（操作レバー位置：排気）してから作業を行って下さい。
- 圧送作業中に、ブレーキ液漏れ等が発生した場合は、直ちに操作レバーを排気に切り替え作業を中止してください。
- 入力エア圧は1.0MPa（１０Kgf/cm^2）以下として下さい。
- 環境温度は5～40℃で使用して下さい。
- 保管は、操作レバーを中立にして下さい。

- ブレーキ液の圧送以外には使用しないで下さい。
- 圧送作業中に圧力計が0.3MPa（3Kgf/cm^2）以上になった場合は、使用を中止して下さい。
- リザーバタンクへ取付け後のアタッチメントには、外圧を加えないで下さい。
- 本製品のレギュレータは適切な調整が行われていますので、触れないで下さい。
- 圧送ホースを強く引っ張らないで下さい。
- 劣化した圧送ホースは使用しないで下さい。
- 圧送ホースを折り曲げた状態で使用しないで下さい。
- 故障の原因となりますので、衝撃を加える、圧送ホースをもって引きずる等の行為は行わないで下さい。
- 補修部品は ***KTC*** 純正品をご使用下さい。

ＡＢＳ装着車等について

⚠ 注意

本製品は、ABS、ハイドロユニット装着車にも使用できますが、以下の点に注意して下さい。

- ABS装着車の場合、ABSのコンピューターが自己診断で作動することがあり、アクチュエーターにエアを吸い込む恐れがありますので、各自動車メーカーの整備指示書に基づき作業を行って下さい。
- ハイドロユニット、油圧ブースター装着車の場合、装置単体でエア抜きが必要な場合がありますので、各自動車メーカーの整備指示書に基づき作業を行って下さい。

使用方法

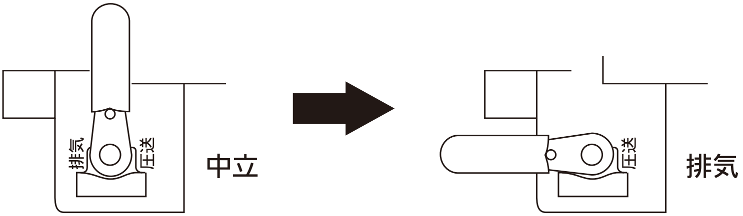
ブレーキ液の注入

全容量を入れる場合（最大2ℓ）

※全容量以下の場合は注入方法が異なります。（P18を参照してください。）

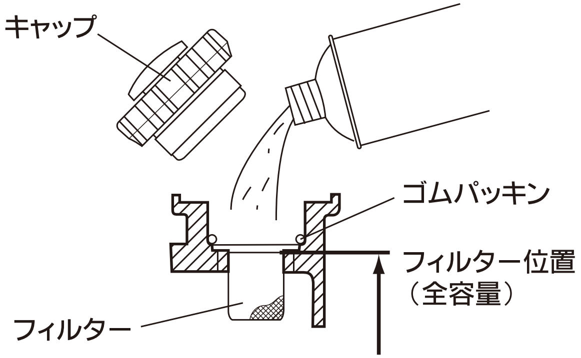
1. 操作レバーを中立から排気に切り替え、キャップを開けて、ブレーキ液を注入します。

注
❗・水平な場所で注入を行ってください。 🚫・タンク内にゴミ、ホコリ、水等が入らないよう注意してください。 🚫・圧力低下の原因となりますので、ゴムパッキンに傷をつけないでください。



2. タンク内フィルターの位置まで注入しますと、全容量2ℓとなります。ブレーキ液を注入し終わりましたら、キャップをロック位置まで回してください。キャップを締めた後、操作レバーを中立に切り替えてください。

注
❗・タンクへの注入終了後、操作レバーを排気で放置されますと、バルブの故障や破損の原因となることがあります。

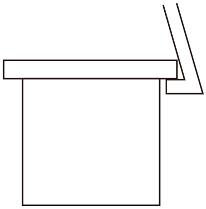


アタッチメントの選択

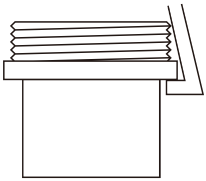
※リザーバタンクツバ部は、大きく分けて3タイプ5種類あり、それぞれ
適切な取り付けを行ってください。
アタッチメントはリザーバタンク及びツバ部の形状、給入口の内径、
マスタシリンダ周りの状況等により、適用表を参考に選定してください。

1.フランジタイプ（3種類）

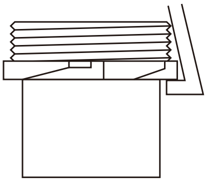
ツバ



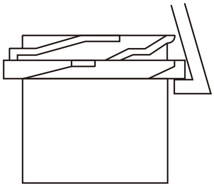
上部ねじ・下部ツバ



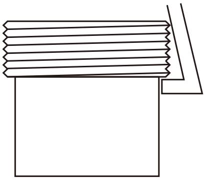
上部ねじ・下部つめ



2.つめタイプ



3.ねじタイプ
※B系＋D1も使用できますが
B系＋E1の使用をお勧めします。



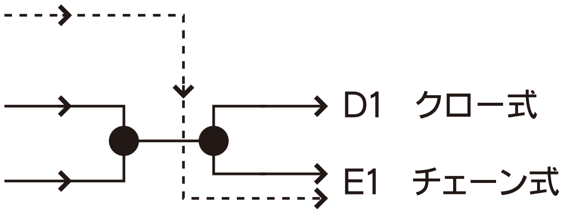
アタッチメント適応サイズ

・A1　φ18 ～ 31

・A2　φ32 ～ 45
※A2はE1を併用することもできます。

・B1　φ46 ～ 60

・B2　φ61 ～ 76



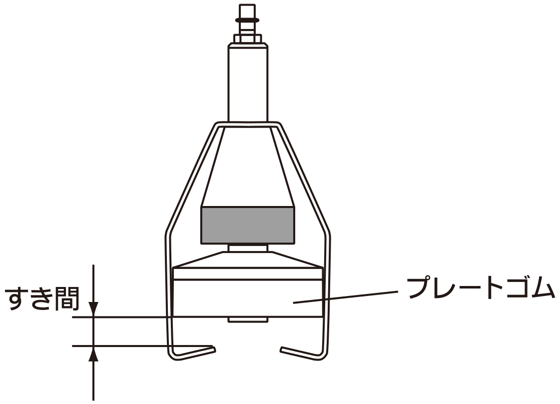
リザーバタンクへのアタッチメントの取付け

アタッチメントはリザーバタンク及びツバ部の形状、給入口の内径
マスタシリンダ周りの状況等により、適用表を参考に選定してください。

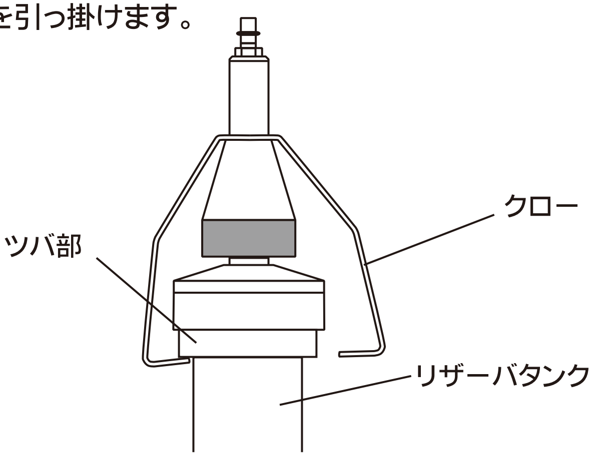
注
⃠・リザーバタンクに取付け後、アタッチメントには外力を加えないでください。リザーバタンクを破損したり、ブレーキ液漏れを起こす恐れがあります。

アタッチメントA1使用方法

1.クローとプレートゴムの間に十分なすき間ができるように、ロックナットを時計方向に回し、調整します。

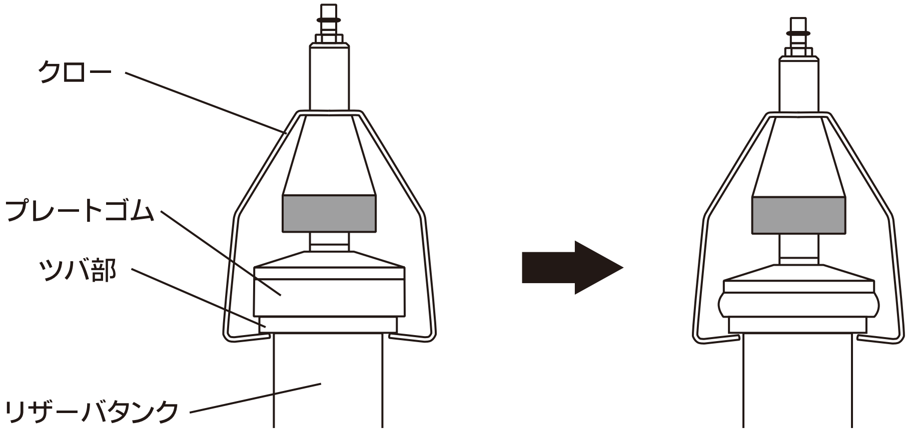


2.リザーバタンクのキャップを取外してください。
左右のクローを指で押し広げ、リザーバタンクの上からかぶせ、ツバ部に左右均等にクローを引っ掛けます。



3.プレートゴムがリザーバタンク給入口の中心に来るようにあてがい、ロックナットを反時計方向に回し、プレートゴムとクローでリザーバタンクに固定します。クローがツバ部に当たってから、ロックナットを3回転程回し、十分にプレートゴムをリザーバタンクに押さえつけてください。

注
⃠・取付け後、プレートゴムがリザーバタンク給入口の中心にあるか確認して下さい。 ❗・リザーバタンクツバ部の形状により、クローの掛ける位置が異なりますので注意してください。(P6を参照してください。) ❗・ロックナットの締め付けが不十分ですと、ブレーキ液漏れを起こす恐れがあります。



アタッチメントA2使用方法

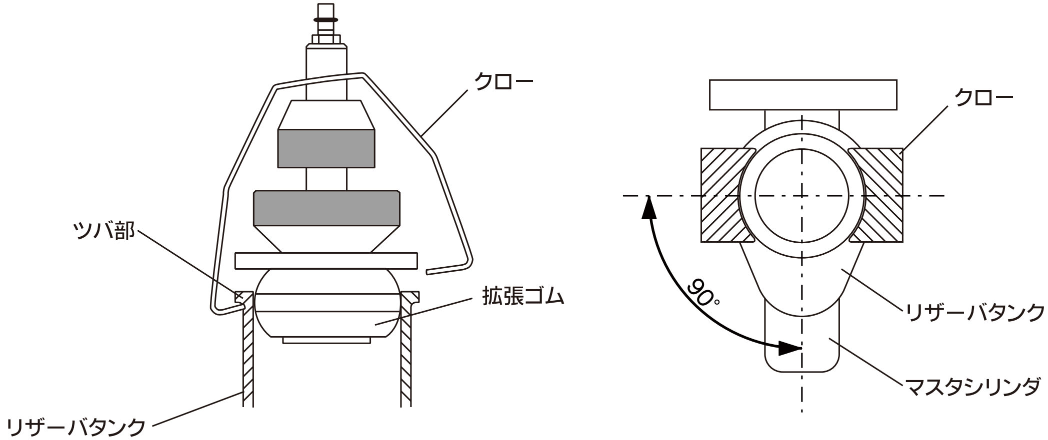
1. リザーバタンクのキャップ、ストレーナー等を取り外してください。
   リザーバタンク給入口の内径近くまで調整ナットを時計回りに回し、
   拡張ゴムを膨らませてください。

注
⃠・拡張ゴムを膨らまさないでリザーバタンクに取り付けた場合、セパレーター等に干渉して正常な使用ができない場合があります。

2. 拡張ゴムをリザーバタンク給入口に軽く押し込みます。
   左右のクローを指で押し広げ、マスタシリンダボディとクローの向きが直角になるようリザーバタンクの上からかぶせ、ツバ部に左右均等にひっかけます。

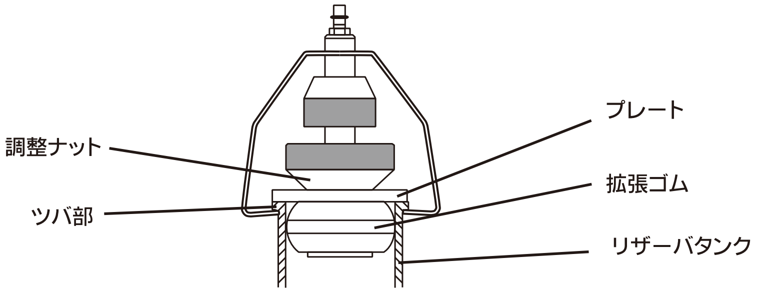
注
⃠・リザーバタンクツバ部の形状により、クローの掛ける位置が異なりますので注意してください。（P6を参照してください。）

＜クローの掛け方と掛ける位置＞

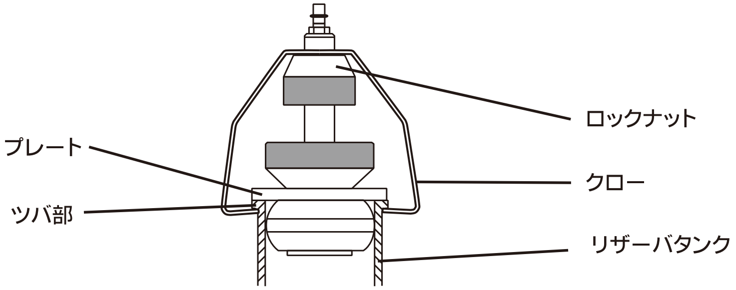


3.プレートがツバ部に当たるまで押し込み、プレートを押さえながら調整ナットがロックするまで時計回りに回し、拡張ゴムをリザーバタンク給入口内径に密着させ固定します。

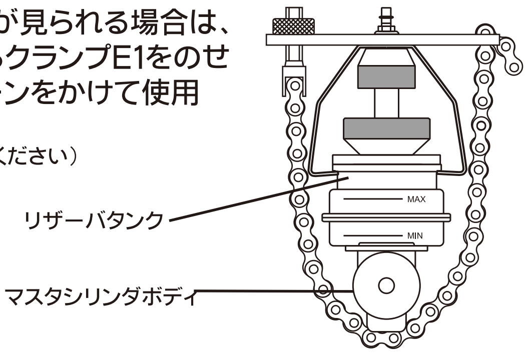
注
❗ブレーキ液があふれ出したり、プラグカプラから吹き出す恐れがありますので、ブレーキ液を液面レベル下限まで減らすか、プラグカプラ上にウエスをかけ、エンジンルームを汚さないように注意して取り付けてください。



4.ロックナットを反時計回りに回してください。プレートがツバ部に当たってから1回転程度回しプレートとクローでリザーバタンクに固定します。



リザーバタンクに劣化、変形が見られる場合は、A2を取り付けた後に、上からクランプE1をのせマスタシリンダボディにチェーンをかけて使用することをお勧めします。
（※E1の取り付け方は、P14を参照してください）



アタッチメントB1及びB2＋クランプD1使用方法

※B1又はB2の上にD1をのせて使用します。

注

❗マスタシリンダボディとリザーバタンクをホースバンドで固定している車種（ホンダ、ダイハツ）は加圧によりリザーバタンクが外れる恐れがありますので、ホースバンドの締め付けを確認してから作業を行い、E1が使用できる車種は、E1を使用してください。

1. リザーバタンクのキャップ、ストレーナー等を取り外してください。
   リザーバタンク給入口の内径近くまで調整ナットを時計回りに回し、拡張ゴムを膨らませてください。

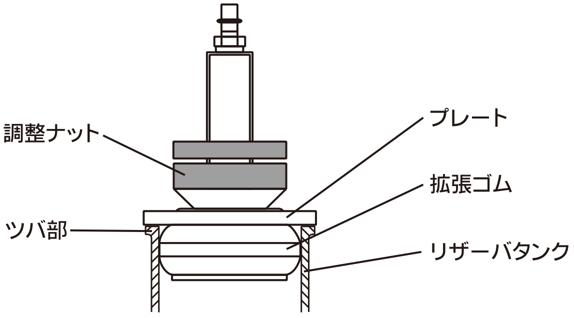
注

⃠拡張ゴムを膨らまさないでリザーバタンクに取り付けた場合、セパレーター等に干渉して正常な使用ができない場合があります。

2. 拡張ゴムをリザーバタンク給入口に軽く押し込みます。プレートがツバ部に当たるまで押し込み、プレートを押さえながら調整ナットがロックするまで時計回りに回し、拡張ゴムをリザーバタンク給入口内径に密着させ固定します。

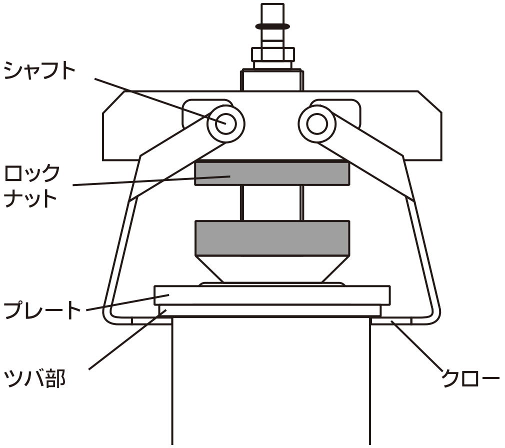
注

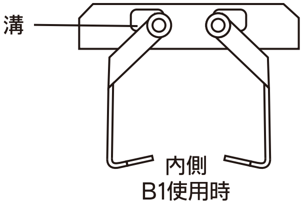
❗ブレーキ液があふれ出したり、プラグカプラから吹き出す恐れがありますので、ブレーキ液を液面レベル下限まで減らすか、プラグカプラ上にウエスをかけ、エンジンルームを汚さないように注意して取り付けてください。

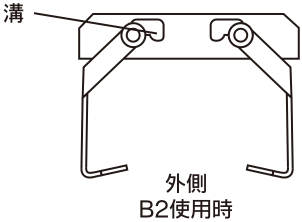


3. クランプD1をマスタシリンダボディとクローの向きが直角になるよう、B1またはB2のロックナットの上にのせ、シャフトをB1は内側、B2は外側の溝にはめ、クローを左右均等にしツバ部に引っ掛けます。ロックナットをロックするまで反時計回りに回し、プレートとクローでリザーバタンクに固定します。

注
❗ クランプD1のシャフトは必ず左右同じ溝にはめてください。（下図参照）左右違う溝にはめて取り付けられた場合、ブレーキ液漏れを起こす恐れがあります。

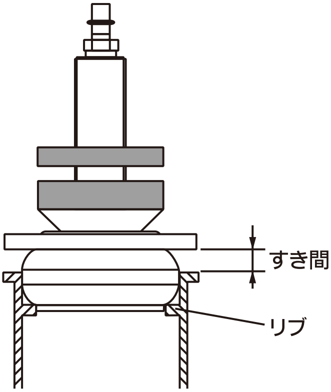






トヨタ車でリザーバタンク内にストレーナー受けのリブが上部にあり、拡張ゴムが押し込めない車種については以下の方法で取り付けてください。

1. 拡張ゴムをリザーバタンク給入口の内径近くまで膨らむよう調整ナットを時計回り回してください。
2. 拡張ゴムがリブに当たるまで挿入し、調整ナットをロックするまで回します。この時プレートとツバ部にすき間が開いていますが問題ありません。
3. クローを左右均等にツバ部に引っかけ、プレートとツバ部が当たるまでロックナット反時計回りに回してください。



アタッチメントB1及びB2＋クランプE1使用方法

※B1又はB2の上にE1をのせて使用します。
B1、B2の取り付け方法はB1又はB2＋D1と同じです。

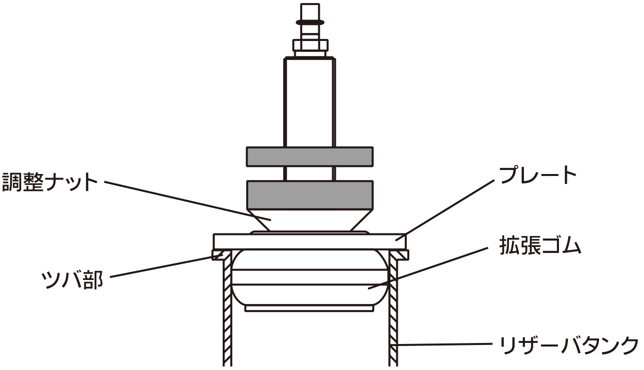
注
❗マスタシリンダボディにリザーバタンクがオフセットして取り付けられている車種（三菱等）は、クランプD1を使用してください。

1. リザーバタンクのキャップ、ストレーナー等を取り外してください。
   リザーバタンク給入口の内径近くまで調整ナットを時計回りに回し、拡張ゴムを膨らませてください。

注
⃠拡張ゴムを膨らまさないでリザーバタンクに取り付けた場合、セパレーター等に干渉して正常な使用ができない場合があります。

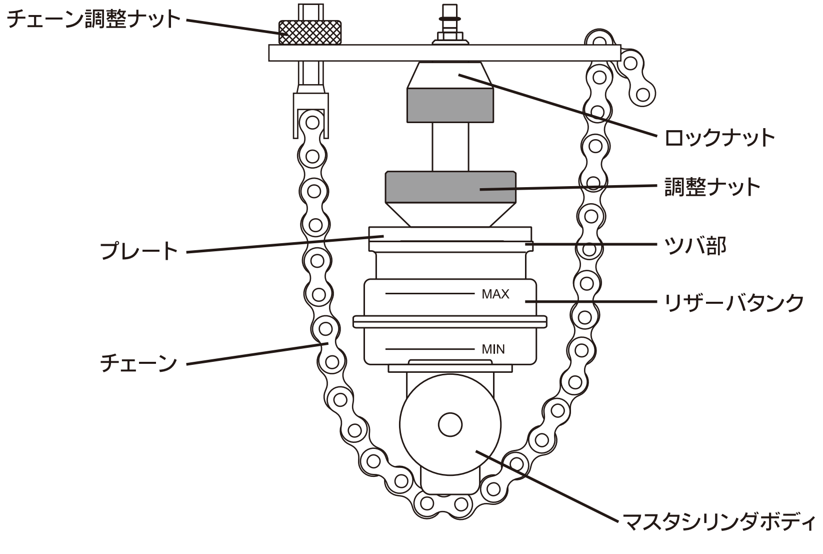
2. 拡張ゴムをリザーバタンク給入口に軽く押し込みます。プレートがツバ部に当たるまで押し込み、プレートを押さえながら調整ナットがロックするまで時計回りに回し、拡張ゴムをリザーバタンク給入口内径に密着させ固定します。

注
❗ブレーキ液があふれ出したり、プラグカプラから吹き出す恐れがありますので、ブレーキ液を液面レベル下限まで減らすか、プラグカプラ上にウエスをかけ、エンジンルームを汚さないように注意して取り付けてください。



3. クランプE1をB1又はB2のロックナットの上にのせます。
マスタシリンダボディにチェーンを掛け、ロックナットを反時計回りに回してプレートをリザーバタンクツバ部に固定させます。

注
⃠・チェーンを掛ける際に付近の配線や配管等の部品を一緒に掛けないでください。部品を破損させる恐れがあります。 ⃠・チェーンはマスタシリンダボディ下（金属部分）を通して掛けてください。リザーバタンクのみに掛けますとリザーバタンクを破損する恐れがあります。

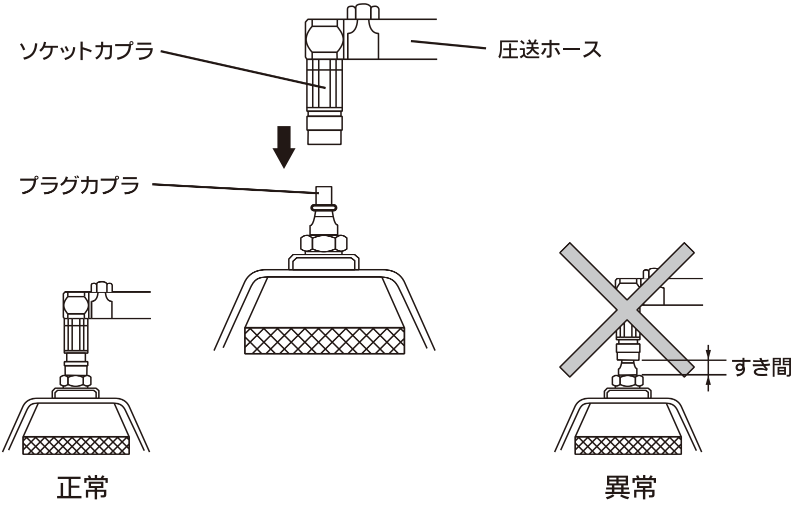


2. チェーン調整ナットをロックするまで時計回りに回し、チェーンを張ってください。

作業方法

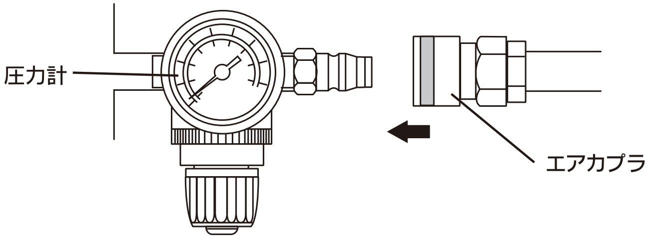
1. アタッチメントをリザーバタンクに取り付けた後、圧送ホース先端のソケットカプラをアタッチメントのプラグカプラに取り付けます。

注
❗・カプラ同士はまっすぐに差し込んでください。斜めに差し込むと先にロックがかかってしまい取り付けることができません。 ❗・カプラが確実に取り付けられているか、ソケットカプラを軽く引っ張って確認して下さい。取り付けが不十分ですと圧送時にブレーキ液が飛散します。



2. 操作レバーが中立であることを確認し、エアカプラを本体に接続します。

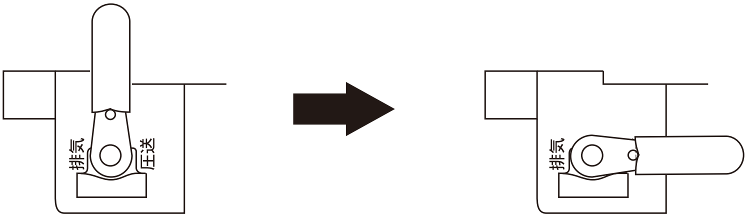
注
❗・接続時には圧力計の針が0.3MPa程度の表示をしますが、圧送を始めますと正常圧力になります。 ❗・エアカプラがゴミ、ホコリ等で目詰まりしていないか確認してください。



3. 操作レバーを圧送に切り替えてブレーキ液の圧送を開始します。
アタッチメントからブレーキ液が漏れないことを確認してから、キャリパー
ホイールシリンダ等のブリーダ操作をしてブレーキ液の交換、エア抜き
作業を行ってください。

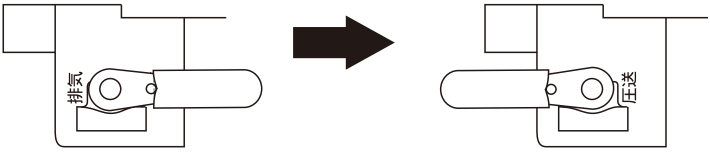
注

- ❗・アタッチメントの取り付けがゆるく、ブレーキ液のにじみ、漏れが発生した場合、操作レバーを排気に切り替え、残圧を抜き、アタッチメントを着けないしてください。
- ❗・圧送時にアタッチメントのプレートが多少浮き上がることがありますが、にじみ、漏れが発生しなければ問題ありません。
- ❗・アタッチメントA1･B1･B2は加圧により内部にたまったエアが調整ナットねじ部から多少出ることがありますが問題ありません。



中立　　　　　　　　　　　　　　圧送

4. ブレーキ液交換、エア抜き作業が終了しましたら、操作レバーを排気に
切り替えて、本体、圧送ホース内の残圧を抜いてください。



圧送　　　　　　　　　　　　　　排気

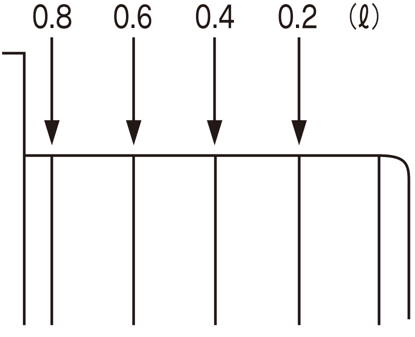
5．アタッチメントからソケットカプラを取り外し、リザーバタンクからアタッチメントを取り外します。エアカプラを取り外し、操作レバーを中立に戻し一連の作業を終了します。

注
⃠・残圧抜きの排気音が止まる前に、ソケットカプラを取り外しますとブレーキ液が飛散します。 ❗・ソケットカプラ取り外し前に、リザーブタンクからアタッチメントを取り外しますと圧送ホース中のブレーキ液が漏れる恐れがあります。 ❗・圧送作業後、車両のリザーバタンク液面レベル上限を超えている場合は各自動車メーカーの整備指示書の基づきレベルを調整してください。 ❗・操作レバーを排気で放置されますと、バルブの故障や破損の原因となることがあります。

残量表示

本体タンク内のブレーキ液が　1ℓ以下　になると、残量表示窓にピストンの端が見えるようになります。残量表示窓にあるゲージは一目盛り0.2ℓを表示します。

注
❗ 残量表示窓は圧送できるブレーキ液の残量を表示しますのでタンク内エア抜き前の状態では正しく表示しません。



残量表示窓

ブレーキ液の補充

A. 全容量を入れる場合（全容量：2ℓ）
操作レバーを中立から排気に切り替え、キャップを開けてブレーキ液を注入します。（P5を参照してください）

B. 全容量（2ℓ）以下の場合　⇒　**タンク内のエア抜きが必要です。**

注
❶・エア抜きを行わないと、ブレーキ液にエアが混入します。 ❶・ソケットカプラからアタッチメントを外してエア抜きを行ってください。取り付けた状態で行いますとブレーキ液が吐出する恐れがあります。（ソケットカプラにはバルブが内蔵されていますので単体では吐出しません。）

1. エアカプラを本体に接続し、操作レバーを中立から排気に切り替え、キャップを開けてブレーキ液を注入します。注入後キャップを締めこみます。

注
❶・水平な場所で注入を行ってください。 ❶・長期保管後は、ピストンの戻りが悪い場合がありますので、操作レバーを圧送にしてから排気に切り替えてください。 ⊘・タンク内にゴミ、ホコリ、水等が入らないよう注意してください。 ⊘・圧力低下の原因となりますので、ゴムパッキンに傷をつけないでください。

2. 操作レバーを圧送に切り替え、キャップ上のエア抜きボタンを押し込みますとエア抜きボタン部からエアが抜け、ブレーキ液がキャップ上ににじんできます。エア抜きボタンを離せば本体のエア抜き作業終了です。

エア抜きボタン

3. 操作レバーを排気に切り替え、タンク内の残圧を抜き、中立に戻して次の作業に移ってください。

保守・保管方法

・操作レバーは中立の状態で保管してください。
・圧送ホース、ソケットカプラはきれいな布で汚れを拭き取り、ホースハンガーに巻いて保管してください。
・本体はきれいな布で汚れを拭き取り、付属の本体カバーを掛けて、湿気の少ない場所に保管してください。
・アタッチメント、クランプはきれいな布でブレーキ液等を拭き取り、アタッチメントケースに収納してください。

注
❗・アタッチメントA1・B1・B2は調整ナットを緩めすぎて拡張ゴムが自由長にならないように若干圧力がかかった状態で保管してください。 ❗・アタッチメントからソケットカプラを取り外して収納してください。カプラを取り付けたままですと圧送ホース内のブレーキ液が漏れます。

・ドレンプラグは定期的に取り外して点検し、ドレンが溜まっていれば排出してください。（ドレンプラグの締めすぎに注意してください。）
・圧送ホース、アタッチメントのプレートゴム、拡張ゴムは消耗します。表面にひび割れなどの劣化が見られるようになりましたら、補給部品（有償）と交換してください。

補給部品

品　　名	品　　番
アタッチメントA1	ABX70 - A1
アタッチメントA2	ABX70 - A2
アタッチメントB1	ABX70 - B1
アタッチメントB2	ABX70 - B2
クランプD1（クロー式）	ABX70 - D1
クランプE1（チェーン式）	ABX70 - E1
圧送ホース	ABX70 - L1

品　　名	品　　番
キャップ	ABX70P - 29
アタッチメントF1	ABX70 - F1
アタッチメントF2	ABX70 - F2
アタッチメントG1	ABX70 - G1
アタッチメントG2	ABX70 - G2
アタッチメントG3	ABX70 - G3
アタッチメントH1	ABX70 - H1

※アタッチメントF1、F2、G1、G2、G3、H1は別売りです。

アタッチメント適用表

●トヨタ

内径	車 種	型 式	アタッチメント 汎用	アタッチメント 専用
φ23	ハイエース	LH119・KZH106	A1	—
	ライトエース	YR21		
	タウンエース	CR30		
	タウンエーストラック	YR28G・YM55		
	エスティマ	TCR11/20G		
	ダイナ	BU87		
φ34	スパーキー	S221E	A2	—
φ42.5	ノア	SR40/50・CR40	A2	G1
	RAV4（EV含む）	SXA10/10W/11・ACA21W		
	クラウン	GS130/131・MS137		
		JZS143/149/151/155/171・MS137		
	チェイサー	1JX100・GX100/81		
	クレスタ	JZX101/90/81		
	ビスタ	SV41/40/32/20		
	カリーナED	ST202・183		
	カローラ	AE110/101		
	ハイラックスサーフ	KZN・RZN185・LN131V		
	ソアラ	JZZ31・GZ20		
	ランドクルーザー	HDJ81V/101K・UZJ100		
	イプサム	SXM10G・ACM21W		
	グランビア	RCH11・VCH10/16・KCH10/16		
	ウィンダム	MCV20・VCV11		
	クラウンマジェスタ	JZX149		
	アリスト	JZS147/161		
	セリカ	ST185/202		
	トヨエース	LH80		
	コースター	HDB50		
	カルディナ	ST191/215W		
	カリブ	AE111G/95G		
	スプリンター	AE101/81		
	トレノ	AE111/92		
	レビン	AE92		
	カレン	ST206		
	カリーナ・コロナ	ST202/190/210		
	スープラ	GA70・JZA80		
	セルシオ	UCF11/21		
	ランドクルーザープラド	KZJ90W		
	マークII	GX71（後期）		
	マークIIワゴン	SXV25W		
	カムリグラシア	SXV25W		
	ラウム	EXZ10		
	スパシオ	AE111N		
	ハイエースレジアス	RCH41W・KCH40W		
	グランドハイエース	KCH16W		
	ハリアー	MCU10W		
	プリウス	NHW10		
	ビスタアルデオ	SV50	A2	
	MR-S	ZZW30		
	プロナード	MCX20A		
	カリーナ	AT212		
	エスティマ	MCR30W		
	オーパ	ZCT15		
	WiLL VS	ZZE127		
	クルーガー	ACV20		
	アレックス	NZE121		
	アリオン	NZT240		
	アルテッツァ	GXE-10	—	
	ヴィッツ	SCP10		
	ファンカーゴ	NCP25/20		
	プラッツ	SCP11		
	WiLL Vi	NCP19		
	bB	NCP31		
φ54	キャミ	J100E	B1＋D1（E1）	—
φ56	MR2	AW11		
	カリーナ	AT170		
	マークII	GX71（前期）		
φ70	スターレット	EP81/91	B2＋D1（E1）	
	セラ	EXY10		
	ターセル・コルサ	EL51/45/41		
	サイノス	EL5		

●日産

内径	車 種	型 式	アタッチメント 汎用	アタッチメント 専用
φ24	エルグランド	AVWE50	A1	—
	キャラバン	KRME24		
	バネット	KHGNC22		
	アトラス	H41		
	リバティ	PM12		
	セレナ	PC24		
	バサラ	JHU30		
	プレサージュ	HU30		
	ティーダ	C11		
	マーチ	AK12		
φ24	キューブ	BZ11	A1	—
	エクストレイル	PNT30		
φ34	プレーリーJoy	HM11・PM11	A2	—
	プレーリーEV	PM11		
	スカイライン	R34/33		
	シルビア	S14/15		
	ラルゴ	W30		
	セレナ	KBC23		
	ステージア	WGNC34		
	レガリス	JLR50・JRR30		
	セフィーロ・セフィーロワゴン	A33/32・WPA32		
	シーマ・セドリック・グロリア	Y34/33/32		
	レパード	Y33		
	ローレル	HC34・GC35		
	プリメーラ・プリメーラワゴン	P10・P11		
	プリメーラEV	P11		
	プレセア	PR10		
	サニー	SB14・B13		
	ブルーバード	EU13・U14		
	アベニール	W10		
	ADワゴン	WFY10		
	パルサー・S-RV	FN15		
	ラシーン	RFNB14		
	マーチ	K11		
	プレジデント	H252		
	ルネッサ	NN30		
	サファリ	WYY61		
	キューブ	Z10		
	ティーノ	HV10		
	ウィングロード	WFY11		
	フェアレディZ	Z33		
φ36	バネット	SS28V	—	F1
φ42.5	アトラス	AKR66EA	A2	—
φ63	サニー	HB12	B2＋E1	
	ローレル	FNB12		
	エスカルゴ	G20		
φ70	フェアレディZ	GCZ32		
	テラノ	YD21		
	シルビア	S13		
	セドリック	Y31		
	スカイライン	R32		
	ブルーバード	U11/12		
	サニートラック	GB122		
	ローレル	HC33		

※アタッチメントF1・F2・G1・G2・G3・H1は別売りです。

アタッチメント適用表

●三菱

内径	車種	型式	アタッチメント 汎用	アタッチメント 専用
φ18	デリカ	P35W・P51V〜	A1	—
φ34	デリカスペースギア	PD8W	A2	
	ミニキャブ	U41V/41T/11V		
	キャンター	FE437E		
	シャリオグランディス	N84W		
	ディオン	CR9W		
	トッポBJ	H46A		
	ランサーセディアワゴン	CS5W		
	エアトレック	CU4W		
	ekワゴン	H81W		
	パジェロ	V75W		
	ディンゴ	CQ2A		
φ58	パジェロミニ	H56A	B1＋D1 (E1)	
	トッポ	H31A/32V		
	パジェロJr.	H57A		
	ミニカ	H22A		
φ66	GTO	Z16A	B2＋D1	
	ディアマンテ	F31A/17A		
	ギャラン	EA1A・E33A/35A/52A		
		EC5A		
	パジェロ	V26WG/24WG		
	デボネア	S12A		
	レグナム	EA1W		
	ミラージュ	CA1A・CJ2A		
	ランサー	CK4A		
	チャレンジャー	K97W		
	カリスマ	DA2A		
	リベロ	CB5W	B2+E1 (D1)	
	RVR・シャリオ	N23W/33W		

●スバル

内径	車種	型式	アタッチメント 汎用	アタッチメント 専用
φ34	サンバー	KS3N・KR6・KV4	A2	—
	（サンバーディアス）			
	ドミンゴ	KJ8・FA7		
	インプレッサ	GC8・GC1・GF6		
	レガシィ	BG5/6/9・BH5		
	フォレスター	SF5		
	プレオ	RA1		
φ60	ヴィヴィオ	KW3A・KK3	B1+D1(E1)	
	サンバー	KV4・KS4	B1+D1	
φ67	レガシィ	BG5・BF5・BD5	B2+D1 (E1)	
	インプレッサ	GC8		

●ダイハツ

内径	車種	型式	アタッチメント 汎用	アタッチメント 専用
φ23	デルタ	V57〜	A1	—
φ34	ハイゼット	S100V/110P	A2	
	アトレー	S130V		
	ミゼット	K100P		
φ42.5	デルタワゴン	GR50		
φ54	テリオス	J100E	B1+D1	
	ミラ	L500S/700S		
		200S・70V	B1+E1	
	ムーブ	L610S/602S		
	アプローズ	A101S		
	シャレード	G200S		
φ60	ハイゼット	S80V/82P/83V	B1+D1	F2
	アトレー	S80V/81V		
	パイザー	G313G	B1+E1	—
	ラガー	F76G		

●ホンダ

内径	車種	型式	アタッチメント 汎用	アタッチメント 専用
φ30	チェロキー	MX・R4	A1	—
φ34	バモス	HM1/2	A2	
φ56	ステップワゴン	RF1	B1＋D1 (E1)	G2
	S-MX	RH1		
	アコード	CF1		
	トルネオ	CF4		
	プレリュード	BB6/5		
	ライフ	JA4		
	シビック	EK3/9		
	セイバー	UA5		
	キャパ	GA4		
	オルティア	EL3		
	Z	PA1		
	ラグレイト	RL1	—	
	オデッセイ	RA6/5		
	HR-V	GH3		
	ストリート・アクティ	HH4/3		
	シビック	EG8/4・EF2・AH	B1＋E1	G2のシールキャップAssy＋E1
	CR-V	RD1		
	レジェンド	KA8/7/3		
	CR-X	EF6		
	トゥデイ	JW3・JA4		
	ロゴ	GA3		
	インテグラ	DA5		
	フィット	GD1		
φ75	インテグラ	DC2	B2＋E1	H1＋E1
	ビート	PP1		
	アコード	CA3・CD4		
	インスパイア・ビガー	CB5		
	アスコット	CB1		
	プレリュード	BA5		
	NSX	NA1		
	オデッセイ	RA2	—	

●マツダ

内径	車種	型式	アタッチメント 汎用	アタッチメント 専用
φ27.5	ポーターキャブ	PC567	A1	—
	タイタン	WGT4H		
φ33	キャロル	AA6PA	A2	
φ34	ファミリアXG	MFY10		
	スクラム	DL51V		
	AZ-ワゴン	CY21S		
φ36	RX-7	FC3S・FD3S		F1
	ファミリア	BHALP・BJ3P		
	センティア	HD55/5S・HEEA		
	ユーノス500	CA8PE		
	ルーチェ	HBEY・HCFS・HCSS		
	MS-8	MB5P・MBEP		
	ユーノス800	TA5P		
	ランティス	CBA8P・CBAEP		
	ファミリア	BHA6R・BG6P・5P		
	フレンディ	SGLW		
	MPV	LVLR		
	プロシード	UF66M		
	カペラ	GF8P		
	ボンゴ	SS88H・SSF8W・SD2AT	—	
	タイタン	（旧式）		
	プレマシー	CP8W	A2	—
φ67	ペルソナ	MASP	B2＋E1	—
	ロードスター	NA6CE		
	レーザー	BFSPF		
	カペラ	CG2PP・GV8W・GD8S		
	フェスティバ	DA3PF		
	デミオ	DW5W		

※アタッチメントF1・F2・G1・G2・G3・H1は別売りです。

アタッチメント適用表

●スズキ

内径	車 種	型 式	アタッチメント 汎用	アタッチメント 専用
φ34	ワゴンR	CT21S/51S	A2	—
	ワゴンRワイド	MP61S		
	クレセント	GC41W		
	エブリィ	DA52W・DF51		
	セルボ	CN22S		
	アルト	CN21S・HA11S		
	キャリー	DB51・DA41P		
	kei	HN11S		
	スイフト	HT51S		
φ60	カルタス	AB34S	B1＋D1	
	ジムニー	JA12W		
	エスクード	TD52W		
φ67	ジムニー	JA51W	B2+D1（E1）	

●いすゞ

内径	車 種	型 式	アタッチメント 汎用	アタッチメント 専用
φ33	ファーゴ	WFS6〜	適用外	
φ34	エルフ	NPR6〜	A2	—
φ42.5	エルフ	NKR〜		
φ49	フォワード〜GIGA	（4t〜10t）	適用外	
φ54	ミュー	UCS69DW	B1+ D1（E1）	—
	ビッグホーン	UBS69GW		
φ67	ジェミニ	JT151F	B2+D1（E1）	

※アタッチメント F1・F2・G1・G2
G3・H1 は別売りです。

●輸入車

メーカー名	内径	車種	型式	アタッチメント 汎用	アタッチメント 専用
VW		ゴルフ	1HADZ	A1	—
		ポロ	現行車		
アウディ	φ30.5	80 2.0E	8CABK〜		
		2.3E	4AAAR		
		A6	4AAB〜		
メルセデス	φ32	ベンツE280	E-124022	A2	
		E210/202	E-12408〜		
		V12	E-1400〜		
			WDB〜		
GM	φ32	キャデラック	E-AE〜		
シトロエン		シトロエン	VF72AZ		
BMW	φ32	BMW	E-325・318ti		
オペル	φ32	アストラ	XD200〜		
		ヴィータ	現行車		
			BY9506		
フォード	φ32	KA	WFOBX〜		
		ディスカバリー	LJ〜		
ローバー	φ33	ミニクーパー			
		ローバー200	XW〜		
プジョー	φ34	406	B-2343		
			DVF37CRFSW〜		
サターン	φ36	セダン・クーペ	SL〜	A2	—
ボルボ	φ63		V70シリーズ	B2+D1	—

●VW・アウディ等はA1の適用ですが、リザーバタンクの給油口外径がA1のゴムより大きいので、取付け時センター合わせに注意してください。

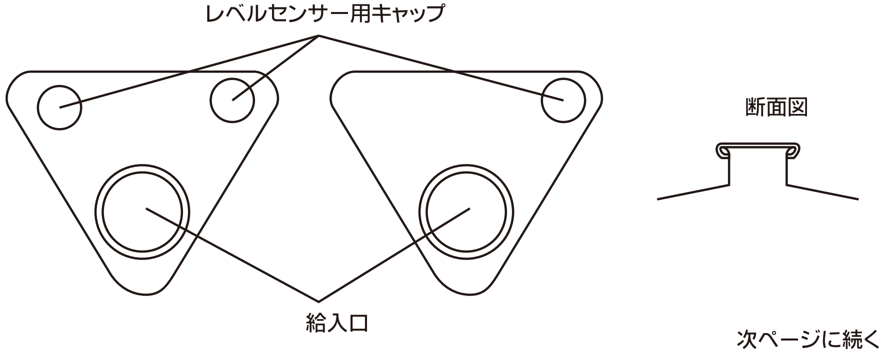
●その他大型トラック

メーカー名	内径	タイプ	車種	アタッチメント 汎用	アタッチメント 専用
日野	φ32	4t系	レンジャー	A2	—
	φ92	10t系	スーパードルフィン	適用外	
UD	φ80	4t〜10t	コンドル〜ビッグサム		
ふそう	φ80	旧車			
	φ95	4t〜10t	ファイター〜スーパーグレート		

使用上のご注意

ご使用になる前に必ず取扱説明書をよく読みいただき、特に下記の点にご注意下さい。

・使用しようとしているリザーバータンクに劣化が見られるものには使用しないで下さい。
・給入口にうまく適合しないものには使用しないで下さい。
・給入口付近にレベルセンサー用キャップなど、別の開孔口が付いている車種には使用しないで下さい。（給入口より加圧しますとレベルセンサー用キャップなどからブレーキ液が漏れる恐れがあります。）



次ページに続く

使用上のご注意

・マスタシリンダとリザーバタンクの取付がホースバンドで固定されているφ46以上の車種（ホンダ・ダイハツ系）は、クランプE1を使用して下さい。又、クランプE1が使用出来る車種へは、E1を使用して下さい。
・ホンダ車のS－MX・ステップワゴン等はリザーバータンクの取付けがはめ込み式に変わっているので、クランプD1が使用可能です。
・マスタシリンダにリザーバタンクがオフセットして取付られているφ46以上の車種（三菱系）は、クランプD1を推奨します。
・リザーバタンクのツバ部がネジのみのφ46以上の車種は、クランプE1を推奨します。
・1BOX車等でマスタシリンダとリザーバタンクが分離しているタイプは、劣化等でホースから外れる可能性が有るので注意して下さい。
・マスタシリンダが1ヶでリザーバタンクが2ヶ付いているタイプで、FとRが分配式に別れている場合は、片方づつ圧送すれば使用出来ます。
・ベンツや古いプレジデント等は、リザーバタンクにフロートレベルセンサー用キャップ等が付いており、加圧するとブレーキ液が漏れる恐れがあります。
・VW・アウディ等はA1の適用ですが、リザーバタンクの給入口外径がA1のゴムより大きいので、取付時センター合わせに注意して下さい。
・F1・F2は締付け途中で固くなる場合が有りますが、締切って使用して下さい。
・G1・G2を使用する場合で、マスタシリンダとリザーバタンクの取付がホースバンドで固定されているタイプへは、G1・G2のシールキャップAssy＋E1を使用して下さい。
・H1を使用する場合は、必ずE1で固定して使用して下さい。
・A2・B1・B2アタッチメントの拡張ゴムは、使用後必ず最縮状態（ゴムを圧縮していない状態）で保管して下さい。拡張した状態で保管しますと、ゴムに癖が付いてしまい最縮状態まで戻り難い場合があり、漏れる原因となります。
・トヨタ車のパワーアシスト付（アリスト・プログレ等）ブレーキには、ABX70は不要です。（使用する必要はありません）ブレーキ構造自体が異なり、ポンプ装置にて自動排出出来るのでペダリングの必要もありません。
・新型車・型式・年式等により適用が異なる場合が有りますので、リザーバタンクへの使用アタッチメントが判断し難い場合は、リザーバタンクの内径を測定して使用するアタッチメントを選択して下さい。
・リザーバタンクは樹脂製です。経年変化等で内径が丸から多少変形している場合もありますので注意して下さい。

製造国：日本　製造元：京都機械工具株式会社　〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地128番地
URL http://www.kyototool.co.jp/

本製品の問い合わせは、お客様窓口又は最寄りの下記支店・営業所までお寄せ下さい。

お客様窓口
（ものづくり／お客様センター）
TEL／0774-46-4159
FAX／0774-46-4359
Email／support@kyototool.co.jp

支　店 TEL ／ 東　京 03(3752)2261 ／ 名古屋 052(882)6671
近　畿 0774(46)3711
営業所 TEL ／ 札　幌 011(824)0765 ／ 仙　台 022(231)6322
金　沢 076(291)4546 ／ 広　島 082(273)0202
四　国 087(869)4474 ／ 福　岡 092(441)5637

※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。（日本国内専用）

No.T51003-1.06.01.1000.KTC